



甲佐初市 (市街地)

町民文芸

【短歌】 米納 三雄 選

膝丈に土手に育ったからし菜はゆれて香って黄の波走る
 村里の人を寡黙にするごとく音を吸い込み雪降りしきる
 末の娘も嫁ぎて我が家広々と胸の奥まで風吹きわたる
 温暖の三日続きで紅白の梅の花咲き庭の華やぐ
 とりどりの花を卓上に生けて食む一人の夕餉ぱつと華やぐ
 孫の婚に口紅こくぬり面付けておても踊りて皆を笑わす
 初市で値切りて買ひし山茶花も色褪せずして今年も咲きぬ
 朝庭に紅耀う木瓜の花傍えに蘇鉄の緑映えたり
 日一日寒さ温さをくりかえし訪ふ鳥の影のふえゆく
 枝を張り老木の梅は早々と花咲き満ちて香りを放つ
 味噌汁の一口うましこの朝生かさされてる身の幸せ思ふ
 パンクバーの冬季五輪の活躍をコタツムリにてテレビに見守る
 チャリンコと言いき終えし高三は明日への道をまたこぐだろう
 この日までただ練習を積み重ね滑る姿は神技と言わむ
 内緒だと耳打ちされしこの噂すでに仲間には共有して

赤星 延子
 田添 徳子
 塚原 晁益
 本田富美子
 松本ぬい子
 森田 房恵
 内田乃武子
 井上ユリ子
 上村 かず
 吉永由紀子
 本田 隆章
 緒方 明美
 渡辺 幸士

デコボンの一果に惹かれ苗木買う 本田サツ子

隣りの子早や小学生土筆生る 田端 慶子

つつましく生きる幸せ犬ふぐり 高田れい子

珍しくゆべし喰みたり祖母の顔 堀田 孝恵

如月の命日詣りや亡母恋し 古田 幸子

同窓の誼しみも古りて梅に歩す 楠本 美鶴

老忘れカラオケ歌う春の日よ 本田 信子

【悪友】

悪友も歳とる程に捨て難い 内村 邦夫
 八十路越え悪友もみな好好爺 成松 松枝
 悪友が杖を頼りに会いに来た 北 仁子

【腹】

普天間をめぐって腹の探り合い 林 雅之
 腹の虫おさえてまるい返事する 緒方 瑞枝
 風呂の中メタボの腹を撫でまわす 布田 愛子

【雛】

初孫にママのお下がりに飾り雛 坂口 政子
 雛飾り子どもを懐かしむ 道上 絹子
 曾孫はお雛様よりなお可愛い 福田 清子

【川柳】

参道に昼行燈の灯がともる 緒方 正堂
 乗った気でぼんやりと見る流れ雲 丸岡はる子
 春眠の老眼鏡がすべり落ち 渡辺 幸士

【ぼんやり】

皆さんの作品をお待ちしております。
 (町公民館事務局 ☎096-234-2447)